

■ 東北大学萩友会

東北大学萩友会は、創立100周年を迎えた2007年に次の100年の大学づくりの礎として発足しました。本会は14万人に及ぶ同窓生に加えて、約1万8千人の在校生、約6千人の教職員、そして在校生の家族等を会員とし、会員相互の親睦と交流、発展に資するとともに、大学と会員とのコミュニケーションを密にして「東北大学コミュニティ」の連帯意識の醸成、強化などを目指していきます。

東北大学萩友会員が一体となる「東北大学コミュニティ」の形成

東北大学萩友会の会員（同窓生・在校生・現職の教職員・在校生の家族等）が親睦・交流を図るイベントとして、東北大学ホームカミングデー及び各地区での交流会を開催しております。

また、年次別同窓会を開催する際に世話役を担う第100～104期までの卒業生（各学部選出）を年次別同窓会幹事として信任しました。



東北大学103周年ホームカミングデー

東北大学ホームカミングデーとは、同窓生が旧友や恩師と再会し、在校生と親睦・交流を深めていただくため、そして何より「母校にかえってきていただきたい」という思いを込めた企画であり、2007年から毎年10月に開催しております。

平成22年10月9日（土）

・萩友会総会

11:15～12:00

百周年記念会館 川内萩ホール

同窓生・在校生代表者によるスピーチのほか、年次別同窓会幹事を信任・紹介しました。最後は、応援団のリードのもと会場全体で学生歌を斉唱しました。



会長挨拶



学生歌斉唱

・仙台セミナー

13:00～15:50

百周年記念会館 川内萩ホール

「東北の精神～場が生みだす価値と選択～」

東北の文化や歴史にスポットを当て、その奥にあるアイデンティティを、講師のリレートークから読み解きました。



伊集院静氏による講演



パネルディスカッション

講演

- 「東北の文化性」 作家 伊集院 静
- 「なぜ政宗は仙台を選んだか」—政宗の国造りにみる“場”の思想— 東北大学東北アジア研究センター教授 平川 新
- 「生者と死者が出会う場所」—霊地からみた東北の精神世界— 東北大学文学研究科教授 鈴木 岩弓
- パネルディスカッション

・在校生と卒業生との親睦会

第1部 12:00～16:30 川内サブアリーナ棟

第2部 17:00～ 川内の杜ダイニング

同窓の先輩に学生生活の体験談を聞いたり、将来に関する相談を行うなど、在校生と卒業生が親睦を深める場として開催しました。



在校生と卒業生との親睦会第1部



在校生と卒業生との親睦会第2部

平成22年10月10日（日）

・秋の文化フェスティバル

発表の部 13:00~15:30
 展示の部 13:00~17:20

百周年記念会館 川内萩ホール

学友会文化部加盟団体が日頃の活動の成果を発表しました。

参加団体 マンドリン楽部、ジャズオーケストラ、落語研究部、吹奏楽部、リコーダーアンサンブル、美術部、男声合唱団、写真部、書道部



ジャズオーケストラによる発表



写真部・美術部・書道部による展示

・ロビー・パフォーマンス

12:50~17:20

百周年記念会館 川内萩ホール

川内萩ホールのロビーをステージとして、学内外の参加団体が、日頃研鑽している名演・美技を披露しました。

参加団体 (学内) 奇術部、書道部、落語研究部、青葉城址男声合唱団、ブルークラス同好会、MUSICA、ジャズオーケストラ、学友会応援団(一般) ステラ、仙台サクソフォンアンサンブルクラブ、ザ・ウィンドオーケストラ仙台



落語研究部によるパフォーマンス



ザ・ウィンドオーケストラ仙台によるパフォーマンス

・東北大学103周年ホームカミングデー記念コンサート

17:30~19:30

百周年記念会館 川内萩ホール

記念コンサートでは空間を使った演劇の要素をも取り入れ、世代や経歴を越えた総勢300名の出演者がホームカミングデーのフィナーレを盛り上げました。

参加団体 混声合唱団、男声合唱団、OB会合唱団、演劇部・渡部ギユウ、混声合唱団同窓会「秋の子」、東北大学交響楽団



演劇部・渡部ギユウ



合同ステージ

各地区での交流会

同窓生や在校生の保護者等を対象に2009年から各地区で交流会を開催し、本学の現況や最先端の研究成果等の紹介しながら親睦・交流を深めることで、本学及び校友会の活動への理解と関心を深めていただくことにより、当該地区における大規模な「東北大学コミュニティ」の醸成を図っております。



東北大学103周年関東交流会



東北大学103周年九州交流会



東北大学104周年関西交流会

年次別同窓会幹事の信任

東北大学校友会年次別同窓会幹事は、10年後、20年後等の節目に東北大学コミュニティの醸成を目的とする「年次別同窓会」開催の折に世話役を担うものです。

平成22年度は今春卒業した第104期幹事のほか、第100~102期幹事が信任されました。

